

# とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』がスタートします



- 国の省エネ住宅基準を上回る県独自の基準を策定
- 自治体独自の基準としては欧米の水準を超え、全国トップクラス
- 冬でも夏でも温度変化が少なく、一年中春のような家
- 7月1日から基準を満たす住宅を助成

家から健康になる「NE-ST」な家づくりが鳥取からはじまります。

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	HEAT20(民間団体)が提示する 2020年推奨水準と同程度		
断熱性能 $U_A$ 値[W/m <sup>2</sup> K]	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値[cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
住まいる上乗せ額	—	—	定額10万円	定額30万円	定額50万円
住まいる最大助成額	—	—	最大110万円	最大130万円	最大150万円
世界の省エネ 基準( $U_A$ 値)と の比較	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>今の日本 ●日本(0.87)</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>日本の省エネ基準は努力義務だが 欧米は義務化されている</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>今の欧米 ●フランス(0.36) ●ドイツ(0.40) ●英国(0.42) ●米国(0.43)</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> </div> </div>				